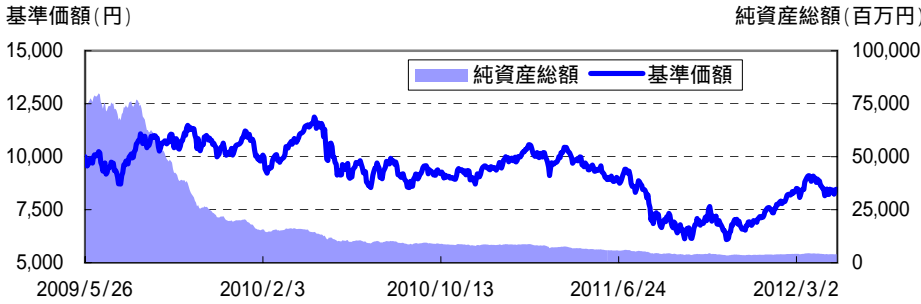


D I A M先進国金融株投信0905  
 単位型投信 / 内外 / 株式  
 月次運用レポート (2012年5月)

運用実績の推移



基準価額は、信託報酬控除後です。信託報酬率は、純資産総額に対し年率1.575% (税抜 1.50%) です。  
 当初元本は1万円ですが、設定時にお申込手数料および消費税等を控除しておりますので、当初運用資金は、9,632.5円です。  
 設定日 2009年5月27日

基準価額・純資産総額

基準価額	8,458 円
解約価額	8,433 円
純資産総額	3,984 百万円
設定日	2009年5月27日
決算日	原則 6月13日
信託期間	2014年6月13日まで

ポートフォリオ構成

実質組入比率	97.5 %
内現物等組入比率	97.5 %
内先物等組入比率	0.0 %
現金等比率	2.5 %
組入銘柄数	43

比率は純資産総額に対する比率

分配金実績 (税引前)

直近3年分

第1期 (2010.06.14)	分配金	0 円
第2期 (2011.06.13)	分配金	0 円
累計分配金		0 円

分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

騰落率

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2009/05/27)
当ファンド	-3.73%	15.00%	10.55%	-15.38%	-25.10%	-15.42%

<ご参考>

当ファンドのお申込手数料は1口につき367.5円 (税抜350円) です。  
 お申込手数料控除後の当初運用資金比の騰落率は右の表の通りです。

設定来  
 手数料控除後

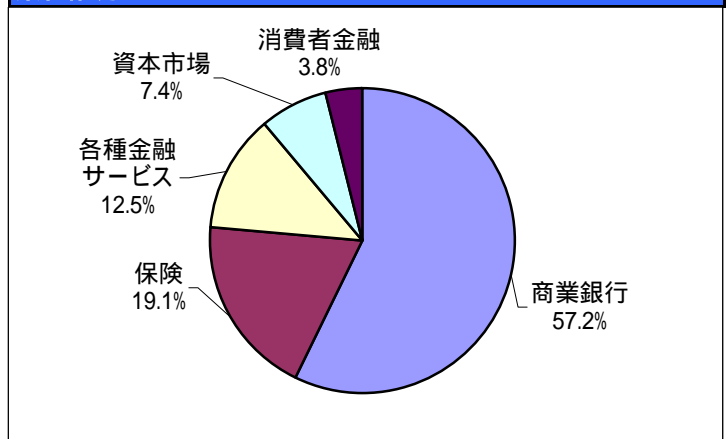
-12.19%

国別上位10カ国

	発行国	比率
1	米国	44.96%
2	カナダ	13.20%
3	英国	12.48%
4	スウェーデン	5.30%
5	ドイツ	4.80%
6	オーストラリア	4.66%
7	日本	4.31%
8	フランス	3.08%
9	ノルウェー	2.99%
10	スイス	2.84%

比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

業種配分



比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

当資料は3枚ものです。  
 P.3の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
 DIAMアセットマネジメント



## D I A M先進国金融株投信0905

単位型投信 / 内外 / 株式  
月次運用レポート (2012年5月)

## 組入上位10銘柄

No	銘柄	国名	通貨	業種	比率 (%)
1	WELLS FARGO & CO	アメリカ	米ドル	商業銀行	7.01
2	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	米ドル	各種金融サービス	6.91
3	US BANCORP	アメリカ	米ドル	商業銀行	6.44
4	PRUDENTIAL PLC	イギリス	英ポンド	保険	5.80
5	TORONTO DOMINION BANK (THE) C\$	カナダ	カナダドル	商業銀行	4.91
6	BANK OF NOVA SCOTIA	カナダ	カナダドル	商業銀行	4.57
7	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	英ポンド	商業銀行	4.34
8	PRUDENTIAL FINANCIAL INC	アメリカ	米ドル	保険	4.33
9	SVENSKA HANDELSBANKEN-A SHS	スウェーデン	スウェーデンクローネ	商業銀行	4.15
10	METLIFE INC	アメリカ	米ドル	保険	4.10

比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

## 当月のマーケット動向と当ファンドの動き

4月の外国株式市場は、一部のアジア市場を除きこれまでの上昇から一転し、下落しました。月初は、これまでの上昇で高値警戒感が煽る中、経済指標において懸念材料が続く軟調な展開となりました。米国の3月ISM製造業景況指数は改善したものの、イタリア財政やポルトガルの債務比率の高さが懸念され国債利回りが上昇して欧州債務問題に対する懸念が再燃した他、米国政府が、ガソリン価格の上昇と欧州債務問題が米国経済のリスクであるとしながらも、FOMC(米連邦公開市場委員会)の議事録では追加緩和の必要性が示唆されなかったことを受けて追加緩和期待が後退したこと等が嫌気され、下落しました。また、ECB(欧州中央銀行)総裁が欧州の更なる景気後退懸念を指摘したこともマイナス材料となりました。スペイン経済への不安を背景に欧州債務問題の再燃が懸念される中、その後発表された米国の3月の非農業部門および民間部門雇用者数が予想を大幅に下回り、急落する展開となりました。これに加えて、中国貿易統計も冴えない内容となり中国国内需要の弱さから世界経済全体の先行き不透明感が強まりました。後半は、ECBの一部のメンバーがスペイン国債購入プログラムの再活用を示唆したことやイタリア国債の入札が無難に終わったこと、アップルやマイクロソフトなど企業業績が概ね堅調な決算内容となったこと、FRB(米連邦準備理事会)が米国景気の見通しについて上方修正したことなどが好感され、月末にかけて下げ幅を縮小しました。個別銘柄では、アップルやマイクロソフト以外にも、予想を上回る決算内容だったアルコアやシティグループが上昇する展開となりました。

業種別では、これまで堅調だった資本財やテクノロジーをはじめ、欧州債務問題を受けた金融、軟調な原油価格の影響を受けたエネルギーが相対的に下落した一方で、公益や生活必需品といった安定収益系は小幅な上昇となりました。

金融株については、月初にスペインの2012年度予算案の赤字が予想以上に大きい見通しとなったことを受けてスペイン国債の入札が不調となるなど、欧州債務問題への懸念が高まったことに伴い、欧州株は軟調な展開となりました。また、米国株も景気減速の可能性が高まるとの観測から、下落する展開となりました。個別銘柄では、企業業績が良好だったモルガン・スタンレーやバンク・オブ・アメリカでさえも下落しました。欧州株では、トレーディング収入の減少や特別損失の影響で前年同期比で減益となる決算を発表したドイツ銀行などを中心に軟調な展開となりました。

当ファンドの4月末の基準価額は前月末比で3.73%下落しました。イタリアやポルトガルの財政に対する懸念が深刻化したことや、これに加えてスペインについても財政赤字問題に対する懸念が強まりました。また、米国経済においても追加金融緩和期待が後退したことや、中国の景気減速の影響も懸念され、マイナスに寄与しました。為替市場では、米国景気に対する懸念や欧州債務問題の再燃により急速に円高が進んだことが、ファンドにはマイナス要因となりました。

投資戦略としては、米国は「やや前向きな」スタンスをとる一方、欧州については根本にある欧州のソプリリスクや景気低迷に対する懸念そのものが解決したわけではない点からも、引き続き慎重なスタンスを維持します。他方、カナダについては、引き続き相対的にポジティブなスタンスを継続します。業種としては、投資銀行業務に強い金融株よりも商業銀行業務に強い金融株を重視するスタンスを継続します。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は3枚ものです。

P.3の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



## D I A M先進国金融株投信0905

単位型投信 / 内外 / 株式

月次運用レポート (2012年5月)

## 当ファンドの特色

北米、欧州の先進国を中心とする国々および日本の金融株( 1)を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行います。

1 当ファンドにおいて金融株とは、銀行、各種金融、保険等の企業の株式を指します。

株式への投資にあたっては、定量分析等により銘柄群の絞込みを行った後、利益構造、財務内容、業界環境などの観点から個別銘柄のファンダメンタルズ分析を行い、組入銘柄を決定します。ポートフォリオの構築にあたっては、地域、銘柄分散を考慮したうえで個別銘柄の組入比率を決定します。

・外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

・株式の組入比率は、原則として高位を基本とします。

基準価額が一定水準(20,000円)( 2)以上となった場合には、短期有価証券、短期金融商品等の安定資産による安定運用に切り替え、繰上償還( 3)します。

2 上記の一定水準(20,000円)は、安定運用に切り替えるための価額水準です。支払済みの分配金累計額は加算しません。ファンドの基準価額が20,000円以上となることを示唆あるいは保証するものではありません。

3 償還価額が20,000円以上であることを保証するものではありません。なお、ファンドは基準価額が20,000円以上となった場合、安定運用に切り替えることを基本としますが、市況動向等によっては安定運用への切り替えを速やかに行うことができない場合があります。

資金動向、市場動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

毎決算時(原則として毎年6月13日。休業日の場合には翌営業日。)に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

## 投資信託ご購入の注意

投資信託は、

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

## 当資料のお取扱いについてのご注意

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。

当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託は、株式等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点(2012年5月11日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

## 販売会社

野村證券株式会社

当資料は3枚ものです。

設定・運用は  
DIAMアセットマネジメント

